

令和4年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
北海道	豊浦町	豊浦町山村活性化推進協議会	●	●	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である篠崎宏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

リ・マスター合同会社 代表社員 篠崎宏

【意見聴取の概要】

当該事業の計画書や実績報告書等を確認しながらヒアリングによる意見聴取を行なった。

商品開発の面では、令和3年度事業で開発途上であった「ホタテバターしょうゆめし」を春の養殖準備段階で余剰となるホタテの稚貝を上手に活用することにより、製造原価の低減とともに商品の旨みの向上を見事に両立させたことは評価に値する。また、売上では、商品化した「ホタテ釣り体験セット」の売り上げのほか、R3年度の「山の恵みマッチング」の出展をしっかりと活かし、売上を伸ばしており、評価に値する。今後は、構築した「ふるさと特産サイト」の運用による売上拡大に期待したい。